



国民春闘共闘

2023年度 第5号
2022年 12月 13日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第3回（最終）集計

物価高騰に「生活守れ」の声を上げ 前年実績を上回る成果を獲得

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は12月8日、2022年度最終となる第3回目の年末一時金集計を行いました。

<回答状況>

| | 2022年 | 2021年同期(最終) |
|----------|------------|-------------|
| 回答引き出し組合 | 1,114 | 1,412 |
| うち 妥結組合 | 582(52.2%) | 674(47.7%) |

<要求と回答内容>

| 集計方法&対象 | | 2022年回答 | 2021年同期 | 同期比 |
|---------|------|---------|---------|--------|
| 単純平均 | 月数 | 2.01 | 1.99 | 0.02 |
| | 額(円) | 581,776 | 566,458 | 15,318 |
| 加重平均 | 額(円) | 696,074 | 605,626 | 90,448 |
| | 組合員数 | 210,713 | 252,992 | |

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

| | | 組合数 | うち前年実績以上 | 22年回答 | 21年実績 | 実績比 |
|------|------|-----|------------|---------|---------|-------|
| 単純平均 | 月数 | 872 | 671(77.0%) | 2.01 | 2.01 | ±0 |
| | 額(円) | 454 | 306(67.4%) | 609,048 | 601,029 | 8,019 |

<非正規の仲間の回答状況>

| | | 時給制 | 月給制 | 再雇用・時給制 | 再雇用・月給制 |
|------|------|--------|---------|---------|---------|
| 単純平均 | 月数 | 0.830 | 1.256 | 0.623 | 1.063 |
| | 前年同期 | 0.954 | 1.399 | 0.876 | 1.429 |
| | 額(円) | 57,449 | 212,661 | 96,648 | 213,075 |
| | 前年同期 | 54,441 | 183,001 | 74,298 | 166,484 |

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

12月8日に実施した2022年の年末一時金第3回集計には、別表の29単産・部会から報告が寄せられました。回答引き出し組合は1,114組合で、このうち186組合・16.7%が数次の上積み回答を引き出しています。妥結しているのは回答引き出し組合の52.2%にあたる582組合となっています。

回答内容

回答月数が判明している942組合での単純平均（一組合あたりの平均）は2.01ヵ月で、前年同期（2021年12月17日最終集計）1.99ヵ月を0.02ヵ月上回っています。

回答金額が判明している582組合での単純平均額は581,776円となり、前年同期566,458円を15,318円上回っています。また、加重平均額（組合員一人あたりの平均）は696,074円で、前年同期比（605,626円）で90,448円増となっています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では872組合のうち671組合・77%（前年実績同月数362組合、前年実績月数超309組合）、金額では454組合のうち306組合・67.4%（同38組合、同268組合）が前年実績額以上の回答を引き出しています。単純平均月数では前年実績と同月数、額では前年実績8,019円増となっています。

全体としては、歴史的な物価高騰から生活をまもるために、物価対策要求や「もう黙ってられない賃金上げろ！全国アクション」への結集、ストライキ配置しての粘り強い交渉などを進める中で、前年実績以上の成果を上げています。しかし、コロナ禍以前の水準には届いていません。また、コロナ禍で奮闘する卸売・小売業、医療、社会福祉・介護関係では厳しい回答状況となっています。産業界でも回答状況にばらつきが出ているとの報告も寄せられています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の10単産224組合から435件の獲得報告が寄せられています。（前年8単産282組合441件）

このうち、時給制労働者の一時金獲得は、全農協労連、建交労、JMITU、生協労連、全労連・全国一般、全印総連、出版労連、日本医労連から221件の獲得報告となっています。月数報告のあった150件の単純平均は0.83ヵ月で、前年同期0.954ヵ月（21年12月17日最終集計）を0.124ヵ月下回っています。金額報告のあった93組合の単純平均額は57,449円で、前年同期54,441円を3,008円上回っています。

また、前年比較可能な組合を見ると月数・額ともに前年実績を若干下回っています。

月給制非正規雇用の仲間の一時金獲得は154件となり、単純平均で1.256ヵ月（106件）、212,661円（48件）となっています。

継続雇用者では、時給制労働者が17件の引き出しで、単純平均0.623ヵ月、96,648円となっています。月給制労働者は43件の回答を引き出し、単純平均1.063ヵ月、213,075円となっています。

物価高騰の中、生活改善に資する十分な回答とはなっておらず、23春闘に向けて「大幅賃上げを！非正規差別やめろ！」の声をより一層上げていく必要があります。